

事務事業名		特別養護老人ホーム補助金		所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課	
総合計画体系	政策名	(Ⅲ)地域で支えあうらしづくり《保健・医療・福祉》		所属G	高齢者福祉	課長名	内田 孝夫	
	施策名	(18)高齢者福祉の充実		担当者名	糸原 幸子	電話番号	0854-40-1042 (内線) 3618	
	目的:対象	65歳以上の市民	意図	生きがいを持って、いきいきと暮らす。				
	基本事業名	(053)老人福祉施設等の充実		予算科目	会計 11502 011502 項目 067 053067	大事業名	老人福祉施設総務管理事業	
目的:対象	施設入所者	意図	いきいきと暮らす。				中事業名	特別養護老人ホーム補助金

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
①平成5年建設の特別養護老人ホームさくら苑の社会福祉施設整備資金借入金償還元利補給補助金。合併前に債務負担行為により確定。平成25年度で終了。【借入総額】224,300,000円【償還年数】20年 雲南市の元利補給補助金 元金 85,200,000円 利息 30,218,101円 補助総額 115,418,101円
②平成17年に建設された特別養護老人ホーム梅里苑の社会福祉施設整備補助金。合併前に債務負担行為により確定。平成26年度で終了。【補助対象金額】966,205千円【補助金交付決定額】300,000千円 単年度30,000千円を10年間で補助する。
③平成25年度に新設される特別養護老人ホームみとやの郷の施設整備事業費に対する社会福祉施設整備補助金。25年単年度の交付。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動)		26年度計画(26年度に計画する主な活動)			
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
	ア 社会福祉施設整備費補助金	千円	34,791	34,613	169,438	30,000	
	イ						
	ウ						
	エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	特別養護老人ホームへの入所対象者	ア 要介護認定者数(要支援を除く)	人	2,076	2,156	2,152	2,155
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	民営の法人の建設費補助をすることで市直営の施設との均衡化を図り、経営の安定化を図ることにより、入所者が継続してサービスを受けることにつながる。	ア 入所人数	人	140	140	140	190
		イ					
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
●社会福祉施設整備資金借入金償還元利補給補助金 4,437,195円(交付先:(福)きすき福祉会)	財源内訳	国庫支出金	千円			
●社会福祉施設整備補助金		県支出金	千円			
・特別養護老人ホーム梅里苑分30,000千円(交付先:(福)有隣会)		地方債	千円		135,000	
・特別養護老人ホームみとやの郷分135,000千円(@2,250千円×60床 交付先:(福)萌友福祉会)		その他	千円			
		一般財源	千円	34,791	34,613	34,437
		事業費計(A)	千円	34,791	34,613	169,437
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	2
		延べ業務時間	時間	16	16	60
		人件費計(B)	千円	63	63	234
		トータルコスト(A)+(B)	千円	34,854	34,676	169,671

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成19年度から社会福祉施設整備事業費補助金については国および県とも廃止された。市補助金の対象として、合併前に整備された特養2施設整備費への支援のほか、平成25年度において新設される特養整備費も加わった。	特になし	現在雲南市内の各特別養護老人ホームの待機者数は62名から187名(重複申請)であり増床等により待機者数を減少させることが望まれている。

事務事業名	特別養護老人ホーム補助金	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	--------------	-----	-------	-----	----------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合 ⇒
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合 ⇒	
③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合 ⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 国・県と事業計画を協議した時点で国県市町の補助残について、資金計画を立てており、現時点での償還計画を変更することは困難である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 債務負担行為により確約した補助金であり、事業実施計画時点での社会福祉法人の資金計画(返済額)が困難となる。	
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合 ⇒ (具体的な手段や類似事業名)		
<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 類似の事業はない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 債務負担行為の議決済みである。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 補助金の交付事務は、正規職員で対応すべき事務であり、また、最低限の時間で対応している。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 雲南市社会福祉施設整備費補助金交付要綱に基づいて補助金交付をしている。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	裁量の余地のない事業である。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
同種の施設であっても、設置経緯によって運営法人の負担が大きく異なっているため、今後は補助金交付基準の見直しを検討する必要がある。																								